

令和 6 年度第 2 回生駒市国民健康保険運営協議会会議録（要旨）

1. 日時 令和 6 年 2 月 2 0 日（木）午後 2 時～ 3 時

2. 場所 生駒市役所 大会議室

3. 出席者

（委員）

高取会長・吉村会長代行・恵比須委員・中嶋委員・萩原委員
・上原委員・山岡委員・白井委員・田中委員・横矢委員

（事務局）

吉村子育て健康部長・児玉国保医療課長・鈴木国保係長・
坂本主査・井貝主任

（傍聴人）

なし

4. 議事内容

（1）開会

（2）会長挨拶

（3）議事録署名委員について

（4）審議案件

①令和 7 年度生駒市国民健康保険特別会計予算（案）について

②条例改正（案）について

国民健康保険税条例の改正（保険税率、限度額の改正）

国民健康保険税条例の改正（軽減対象拡大）

③その他

（７）閉会

５．審議結果

①令和７年度生駒市国民健康保険特別会計予算（案）について

承認

②条例改正（案）について

承認

６．質疑等

①会議の公開・非公開について

【事務局】本会議は「附属機関及び懇談会の会議の公開に関する基準」第２条に基づき、原則公開となっておりますので、公開とさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【委員】異議なし。

【事務局】本会議は公開とさせていただきます。

②議事録署名委員について

【会長】議事録署名委員の選任でございますが、会長である私から指名させていただきます。よろしいでしょうか。

【委員】異議なし。

【会長】白井委員と田中委員のお二人にお願いいたします。各委員におかれましては、後日、事務局が議事録を作成次第、署名をいただきますので、よろしくお願いいたします。

③令和7年度生駒市国民健康保険特別会計予算（案）について

【事務局】それでは、令和7年度生駒市国民健康保険特別会計予算（案）についてにつきまして、説明させていただきます。

資料説明

以上でございます。ご審議よろしく申し上げます。

【会長】ただ今事務局から説明がございましたが、委員の皆様何か質問等がございますか。

【委員】被保険者数が減少することより医療費が減る一方で、高齢者が増加することで個人個人の医療費が増えていくと。これを前提に予算編成を見ると、来年度については、被保険者数の減少よりも高齢者の増加による医療費の増加の方が大きいと見込んでいるのでしょうか。

【事務局】一人当たりの医療費につきましては、毎年少しずつ上がっている状況です。その度合いについてはその年の病気の流行によって変わってきますが、この数年は下がることなく上がっていますので、来年度も被保険者数が減少することは予想されますが医療費は上がっていくと見込んでいます。

【会長】保険給付費のグラフを見ると令和6年度は見込となっていますが、令和7年度は令和5年度と同じくらいになるという予算でしょうか。

【事務局】令和 6 年度の決算見込は、年度当初 7 4 億円ほどを見込んでいましたが、現在の見込みは 6 7 億円ほどとなっています。しかしながら医療費は今後も伸びていくだろうという見込みで 7 1 億円ほどを計上しております。

【会長】令和 6 年度の見込額は、コロナが流行していた令和 2 年度よりも少なくなっています。これは被保険者数の減少によって、ということでしょうか。

【事務局】国保被保険者数の推移を見ると令和 2 年度よりも 2 千人近く減少しています。1 人当たりの医療費は年間 4 0 万円ほどでして、被保険者が 2 千人の減少となると、本来であれば単純計算で大体 8 億円ほど減少するところです。1 人当たり医療費が上がったとしても、その上がり幅よりは被保険者数が少なくなったことによる下がり幅の方が大きいと考えられます。

【会長】令和 7 年度はまた増えていく、ということでしょうか。グラフが歪だと思ひまして。

【事務局】令和 6 年度の数字は決算見込ですので令和 5 年度からの下がり幅と令和 7 年度にかけての上がり幅が大きいように見えます。令和 5 年度までは決算、令和 6 年度は決算見込、令和 7 年度は予算の数字です。令和 7 年度は令和 5 年度決算よりも少ないですが、ここ数年の決算を見ながら予算を立てていまして、令和 6 年度は現在の決算見込額が当初見込よりも少なくなりましたが、同じような考え方で予算計上していました。

【委員】保険給付費の増大が全体の支出を押し上げていて、被保険者数が減少していることから特別会計の収支が心配されます。保険給付費を抑えていくために、保健事業費の中で特定健診をしっかりと行っていただいて

医療費を抑えていただいていると思うのですが、特定健診の無償化を始められたことで、具体的にどんな数字として表れていますか。

【事務局】別途その他の案件で詳しく説明いたします。

【会長】ありがとうございました。他にご質問はないですか。

【委員】特になし。

【会長】それでは、本案件については、承認することといたします。

④ 条例改正（案）について

【事務局】それでは、条例改正（案）につきまして、説明させていただきます。

資料説明

【会長】ただ今事務局から説明がございましたが、委員の皆様何か質問等がございますか。

【委員】今回示された税率につきまして、県統一基準で生駒市単独ではどうにもできないと。

【事務局】お見込みのとおりで、県下市町村で統一という形をとっていますので、どこの市町村も4月1日で改正されます。

【委員】賦課限度額についてです。国から1年遅れで改定ということですが、これは慣例ということでしょうか。何か考え方がありますか。

【事務局】奈良県の考え方は、医療分、後期分、介護分それぞれの賦課限度額について、市町村標準保険料率の算定を行う時点で施行されている政令に定める額により県内統一化するというものです。そのため、国が賦課限度額改定した後1年遅れで改定されます。

【会長】ありがとうございました。他にご質問はないですか。

【委員】特になし。

【会長】それでは、本案件については、承認することといたします。

⑤その他

【事務局】特定健診の受診状況につきまして、法定報告のデータを基に説明させていただきます。

資料説明

【会長】ただ今事務局から説明がございましたが、委員の皆様何か質問等がございますか。

【委員】特定健診の受診率が上がっているということは、それだけ予防医療に繋がるということで全体的な支出を抑えていけるのかなと思っています。1人当たりという計算はされていないかもしれませんが、受診されることで大体どれだけの医療費が減るといった数字はお持ちでしょうか。

【事務局】現在の健診を受けられた方と受け取られないかっていう後の医療費の伸びがどうなるかという具体的な数字は持っていないのですが、先日奈良医大の公衆衛生の先生の方から、国保と後期と合わせて健診データと医療費等を突き合わせた追跡調査を行っていて、健診を受けている人と受けていない人との医療費の差が見えてきたよっていうことをちょっと伺いしています。今後はその辺りのデータをいただきたいなということで今お話ししていますのでまたそこははっきり分かれば報告したいと思いますので、よろしくお願いします。

【委員】全体的な数字を見るとき、細かい数字というのは積み重ねだとは思

いますので、少し数字を追っていくのは面倒なところはあるかもしれませんが、また教えていただけたらと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【委員】特定健診に関連してなんですが、この受診者数を見ますと、40歳から64歳くらいまでの受診率が低いということですが、母数はどれくらいですか。

【事務局】右側のグラフが母数、左側のグラフが受診者数です。折れ線グラフが受診率です。令和5年度の40～44歳を例にしますと、母数が805名、受診者数が119名で14.8%となっています。国保の特性としまして、やはり退職されてから入られる高齢の方が多くなりますので、若い方は少ないです。

【委員】今後医療費削減を狙うには65歳未満の方をターゲットにすることになりますよね。もちろん社保はしっかりやっていると思います。一方国保は、先ほどのグラフのひと塊が千人くらいしかいないのに、言葉は悪いですが受診に引っぱり出せないかな、と。高齢者の受診率が高いのは分かります。多分データを取れると思いますけど、健診を受けられた人について、元々病院にかかっている健診を受けた人、それと病院にかかっていないけど健診だけを受けている人という視点で見ないといけないですね。元々疾患を持たれていて病院に通ってらっしゃる方と、病院に通っていない方とはちょっと性質が違うと思うのです。

若い方は平日になかなか穴を開けられない方が多いでしょうけど、その辺を何か重点的に、例えば40歳から44歳、たかだか800人とか、何とか引っ張り出す仕掛けというか、それがが必要です。生駒市は全員を安くするっ

というキャンペーンをとっていて、これってありがたいし、受診者数が増えたと喜んでいるけど、多分500円払っても来る人は来ます。

奈良市も後期高齢者は確か500円だったと思いますが、そっちよりはあと30年40年生きる人たちにシフトして何か引っぱり出せる仕掛けがないのかなと思います。

【事務局】今年度初めての取組みなのですが、43歳～74歳で、特定健診3年未受診かつ医療機関3年未受診の2,275名に受診勧奨をしました。勧奨の発送が9月末で、おおむね11月までに受診してくれた方に抽選でクオカードを差し上げますという内容です。実際に受けられた95名の方が対象になったのですが、資格がもう既にない方とか除いて89名の方みなさまにクオカード千円分をお渡ししています。若年層の母数は少ないのですが、40歳代9名、50歳代18名、60歳代35名、70歳～74歳が27名の計89名です。

43歳～74歳で特定健診3年未受診だけでも医療機関受診ありの方2,286名に9月末と1月末に受診勧奨ハガキを発送しています。さらに、この3年間で、医療機関受診の有無は関係なく特定健診を受けたり受けなかったりのいわゆるまばら受診の方がいらっしやいまして、先ほどのものとあわせて合計5,823名に受診勧奨しています。このうち3,060名には2回目の勧奨をしています。闇雲に送っているのではなく、ナッジ理論でターゲットを絞って送っています。県の共同事業でやっている抽出条件ですので、今後も状況を見ながら、効果があったものは引き続きやっていきたいです。

【委員】私はずっと病院に通っていて、そこで定期的に検査をしてもらって

います。そのため勧奨ハガキが送られてきたのは知っているのですが特定健診を受診していませんでした。医療機関を受診しておらず自覚症状が無い人に勧奨するのは良いと思いますが、定期的に病院に通って検査してもらっているのに特定健診まで受けるのは無駄に思えてしまうのです。

【委員】特定健診は全被保険者が対象ではないのですか。

【事務局】40歳以上が対象です。また法定報告は4月1日から翌年3月31日までずっと加入している人が対象です。

【会長】受診動機とかはアンケートをとってデータ分析されていますか。無料だから受けてらっしゃるという方が一体どれだけいるのかなと。一定数いるのであれば、無料にするメリットはあったと思うのです。考え方によっては、健康意識さえ高ければ500円ぐらい出しても全然行くよっていう方もたくさんいらっしゃるので、無料にしたから来たんだという意見が多かったら良いと思うのですが、そのあたり把握されていますか。

【事務局】我々もそこは知りたいところです。我々としては、お金が無くて病院に行けないという人に、ハードルを下げて、体の状態を一旦は診ることができるよということで健診は無料にはしたかったのです。国保税を滞納されてなくてギリギリのところで生活していて、調子が悪いけれども病院には行かず、というような人にかかりつけ医をつくっていただくということも健診の目的としています。無料というのはコアなターゲット層に働きかけている要素です。

他の方については、健康意識の問題が一番大きいかなと思うので、おっしゃるように、高くても、500円であっても人間ドックであっても、受ける方は受けると思っています。それこそ社会保険でずっと受け続けてこれら

た方については、おそらくそのまま受けられるでしょうし、人間ドックです
と受けてきたので自費で引き続き受けられる方もいらっしゃると思いま
す。その方たちにはその意識のまあいっていただければと思います。

あとは、忙しいからとか、予約するのが電話で枠が空いてないからとか、
何かちょっと忘れちゃったとか、そういった受ける気持ちはあるけれども
何となくタイミングを外してしまったみたいな人には、できたら背中を押
してあげたいなというふうに思っているので、申込方法であるとか受けや
すさみたいところを考えていきたいなというふうには思っています。

先生方から背中を押されて、受診できるからおいでっていうふうに声掛
けしていただくケースについても、私どもとしては医療費の部分はどっち
が優先であるって言われたら元も子もないのですけれども、本人さんにと
っては普段の健診の項目の血液だけじゃなくて、1年に1回は心電図を受
けるとか、尿検査も合わせて見ていただけるとか、トータルでまず見ていた
だこうという習慣をつけていただきたいと思っています。あと、市の方に健
診結果が来ましたら、重症化予防という点で、健診結果の中から、治療はさ
れているけれどもコントロールがうまくいっていないんじゃないかってい
う方についての保健指導をしていますので、その辺を先生たちも活用して
いただけるように、本当はもうちょっと栄養指導できたらいいのにといい
方に健診の機会を設け、重症化予防の観点で市とコラボしていただけたら
なというふうに思っています。その辺、意識を持っていただきながら受ける
のが当たり前という風潮になるように何とかしたいなとは思いますが、ま
ずはどこから手を付けるのかということで本当に私達も模索しています。

【会長】会社とかで年1回、健康診断をずっと受けている身としては受診履

歴が真っ白の方がいらっしゃるというのがちょっと不思議というか、怖くないかなって個人的に思います。真っ白で、一切チェックも何も無くても平気だっていう人が働き盛り以降でいらっしゃるのかなと思うのですが、いらっしゃるのですかね。

【事務局】実際、今年度43歳～74歳で特定健診3年未受診かつ医療機関3年未受診の2,275名に特定健診受診勧奨していますので、相当数いると考えられます。

【会長】それが驚きです。

【会長】ありがとうございました。他にご意見はないですか。

【委員】特になし。

【事務局】次回の運営協議会の開催は、令和7年8月21日（木曜日）を予定しております。

【会長】以上をもちまして、本日の協議会を終了させていただきます、長時間にわたり、大変ご苦勞様でございました。

議事録署名
